



## 栽培環境コースだよりNo. 9 <シロザケ飼育>

栽培環境コースとマリンバイオ同好会は「サケのふるさと由良川を守る会」主催のシロザケふ化・放流事業に「稚魚放流サポーター」として今年も参加し、ふ化から放流サイズまで大切に管理しました。1月7日に発眼卵を2000粒受け入れ、1年生が700粒、2年生が600粒、マリンバイオ同好会が700粒を管理しました。

【 1月 】 交代で朝、昼、夕に水温測定を行い、管理状況を記録。



[ 7日 発眼卵入荷 ]



[ 15日 孵化開始 ]



[ 水温測定・状態確認 ]

【 2月 】 ヨークサックの吸収終了。摂餌開始。



[ 朝の日直作業(登校直後) ]



[ 摂餌開始 ]

【 3月 】 10日、サケ放流事業に参加。



[ 1843尾を放流 (場所:福知山市 由良川 音無瀬橋下)]

順調に育てることができ、生残率は92.2%、やり遂げたという達成感を感じながら放流を行いました。ふ化から放流までの飼育管理を行ったことで、栽培環境コースとして貴重な体験ができました。

「飼育期間は長かったのに、放流は一瞬なんです。」少しさびしそうな生徒もいました。